古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古　石

後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３７７９号
発行令和３年７月
古石　ひでさと後援会事務所
名寄市西4条南１丁目

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

五輪結果　1

底力 渡辺・東野組逆転

再三の窮地 はね返す

メダル最有力が期待されるバドミントン日本勢の先陣を切り、世界ランキング5位の渡辺、東野組が初の五輪の舞台に立った。相手は同11位のデンマークペア。格下と思われ苦戦を強いられた。

2人とも「緊張した」と打ち明ける。特に渡辺は下からラケットを出してスペースに落とす簡単なショットが入らないなど、ミスが目立った。第1ゲームは15―12から4連続失点で逆転されると、その後は点を取り合いながら20―21と追い込まれ、最後は渡辺のドライブがネットにかかった。

第2ゲームも0―3とリードされた。その流れを変えたのは東野だ。相手は男子が1メートル93㌢の長身ペアで後衛からの強打の打ち合いになると分が悪い。東野は前後移動をこまめに使うことで相手のスピードを封じ、ネット際に羽根を沈めるように返し、相手に羽根を高くに押さざるように仕向けた。それを機に流れがシャンプスマッシュ、トリッキーなドロップショットで着実に仕留めていく、このゲームは21―11と逆転した。

最終ゲームは1―6と劣勢に立たされる。それでも渡辺は「下を向かず、ナーバスにならなかった」と言う。福島県の名門、富岡第一中時代からペアを組む2人は声を掛け合い、1点ずつ取り返した。苦しみながら、最後は21―15で初の五輪の扉をこじ開けた。

2人の「よっしゃ」の叫び声がアリーナに響いた。（須貝周）

第1ゲームでシャトルを追う東野有紗（右）と渡辺勇大（富田茂樹撮影）

Olympic Games

ガソリン車禁止

EU新規制へ対応急務

欧州連合（EU）の行政府である欧州委員会が、二酸化炭素（CO_2）などの温室効果ガスの大幅な排出削減に向けて包括的な政策を打ち出した。

日本が開発に力を入れてきたハイブリッド車（HV）を含め、ガソリン車とディーゼル車の新車販売を2035年に実質禁止する。

環境規制の緩い国からの輸入品に事実上の関税を課す「炭素国境調整措置（国境炭素税）」も23年から段階的に導入する。

30年のCO_2排出量を1990年比で55%減らすための政策で、欧州議会で審議される。

日系自動車メーカー大手8社は2020年にEU市場で約100万台を販売したが、大半が純ガソリンエンジン車かHVだった。

世界販売に占める割合は大きくないものの、脱ガソリン車は世界の潮流であり、対応を誤れば日本車は競争力を失いかねない。

日本は官民で各国の動向を見極めつつ、電気自動車（EV）や燃料電池車（FCV）への移行を急ぐ必要がある。

欧州で販売する新車について、トヨタ自動車は30年までにEVとFCVの割合を計40%に、ホンダは40年までに計100%とする方針をこれまで示していた。

欧州委の政策に対しては、EU内でも産業界から反発の声が上がっている。EV用の充電設備も一部の国に偏在しており、このまま実現するかは不透明だ。

ただ日系各社は戦略の見直しが避けられまい。部品数の少ないEVへの急速な移行は、下請けに打撃となる恐れもある。雇用への影響にも留意してほしい。

国境炭素税は、気候変動対策に取り組むEU域内企業の競争力を維持する狙いがある。

当面は鉄、アルミニウム、セメント、肥料、電力が対象で、日本への影響は限定的とみられる。

だが、矛先が近い将来、日本に向く可能性も否定できない。

欧州では企業がCO_2の排出枠を市場で売買できる排出量取引が活発に行われている。

日本は導入が遅れているが、中国は全国統一の排出量取引を今月始めた。EUが日本は排出削減に消極的と判断すれば、日本を新たな標的とすることもあり得る。

国境炭素税は米国でも与党民主党が導入を検討している。

政府は排出量取引導入など気候変動対策のより具体的な方策を早期に示すとともに、保護主義に陥らない形での国際的な制度づくりに積極的に関与していくべきだ。

柔道阿部兄妹 金

「2人で輝く」誓い奮起

金メダルを手にした柔道男子66㌔級の阿部一二三（左）と女子52㌔級の阿部詩（富田茂樹撮影）

TOKYO 2020

五輪の歴史に残る物語が生まれた。柔道男子66㌔級の阿部一二三と女子52㌔級の阿部詩が同じ日に金メダルをつかんだ。「2人で一緒に」。そろって繰り返した言葉通りに、4試合を勝ち抜いた。先に決勝に臨んだ詩が一本勝ちで頂点に。控室の映像で目にした一二三は「金メダルを取って自分につないでくれると思っていた。絶対にやってやると奮い立った。妹が最高の舞台を整えてくれた」と感謝した。

東京五輪第3日の7月26日、柔道で、男子66㌔級の阿部一二三（23）＝パーク24＝と女子52㌔級の阿部詩（21）＝日体大＝の兄妹がそろって金メダルを獲得した。日本オリンピック委員会（JOC）によると、男女のきょうだいが五輪のメダルを取るのは日本初。女子52㌔級の日本勢初制覇も初めてで、男子66㌔級は2008年北京大会以来、3大会ぶり。

兄妹が躍進し見守る決勝の中継、技ありを奪って優位に。相手の攻めを見極め、歓喜の瞬間が訪れた。

中学、高校で日本一、20歳で世界一に輝いた兄の背中を学年で三つ下の妹が追う。この構図が、一昨年東京で行われた世界選手権で変わった。3連覇を逃した一二三は「金メダルを取って自分につないでくれると思っていた。絶対にやってやると奮い立った。妹が最高の舞台を整えてくれた」と感謝した。

兄妹が躍進し見守る決勝の中継、技ありを奪って優位に。相手の攻めを見極め、歓喜の瞬間が訪れた。

中学、高校で日本一、20歳で世界一に輝いた兄の背中を学年で三つ下の妹が追う。この構図が、一昨年東京で行われた世界選手権で変わった。3連覇を逃した一二三は「金メダルを取って自分につないでくれると思っていた。絶対にやってやると奮い立った。

妹が最高の舞台を整えてくれた。柔道男子66㌔級の阿部一二三と女子52㌔級の阿部詩が同じ日に金メダルをつかんだ。「2人で一緒に」。そろって繰り返した言葉通りに、4試合を勝ち抜いた。先に決勝に臨んだ詩が一本勝ちで頂点に。控室の映像で目にした一二三は「金メダルを取って自分につないでくれると思っていた。絶対にやってやると奮い立った。

ソフトボール 銀以上

競泳の女子400㍍個人メドレーは大橋悠依（25）＝イトマン東進＝が優勝し、女子個人メドレーで初の金メダル。新競技スケートボードの男子ストリートで堀米雄斗（22）＝XFLAG＝も初代王者となり、日本は1日で金メダル4個と最多に上った。前日の柔道男子60㌔級の高藤直寿（28）＝パーク24＝と合わせ金5個。

ソフトボールの日本は1次リーグでカナダに10―0でサヨナラ勝ち。4連勝で27日の決勝進出を決め、銀以上が確定した。北京五輪の金メダルに続くメダル獲得となる。

山本優（32）＝ビックカメラ高崎＝は同点で先発出場し、3打数1安打2打点。山本は北海道出身選手として史上初の金メダリストとなった。

伊藤美誠（20）＝スターツ＝のペアは26日の決勝に進出し、銀以上を決めた。

サッカー男子1次リーグの日本は久保建英（20）＝レアル・マドリード＝の先制ゴールなどでメキシコを2―1で破り2連勝、決勝トーナメント進出へ前進した。

テニス女子シングルスでは、開会式で聖火台点灯を務めた大坂なおみ（23）＝日清食品＝が1回戦を突破した。バドミントン混合ダブルスで優勝候補の渡辺勇大（26）＝NTT東日本＝、東野有紗（25）＝日本ユニシス＝のペアは27日に登場する。

女子シングルスで前回覇者の奥原希望（26）＝太陽ホールディングス＝がともに初戦で勝利した。

スケートボード男子ストリート決勝でガッツポーズの堀米雄斗

堀米 米で鍛錬 初代王者

夢には続きがあった。新競技スケートボードの男子ストリートで初代王者となった堀米雄斗は、小学校の卒業文集に「僕の夢は世界で一番うまいスケーターになること」「アメリカ人に認められるように毎日、毎日、練習してプロスケーターになりたい」と強い決意を刻んだ。一流のプロになる夢をかなえた先に見えた五輪の金メダルが「シンプルなんですけど、本当にうれしい」とはにかむ堀米の胸元で輝いた。

物心が付く前から兄に連れられ、電動家だった父の亮太さん（46）に「やるなら海外じゃないと駄目だ」「（海外のトップ選手は）1億円稼いでいるらしい」と高い意識を植え付けられた。

小学1年で本格的に始め、ほぼ毎日3～4時間練習した。当時から1カ月に1日しか休みがなかったという。

中学2年で単身渡米。「お互いが尊敬し合っている（信二さん）」という、理想的な師弟で高め合う。

「この大会だけを目指して努力してきた。やっと報われた」（時）「強い気持ちで、自分を信じてきたからこその結果。柔道人生がこの金メダルに結集している」（一二三）と、万感がこもる兄妹に拍手と称賛を送った。

最強の兄妹が、日本スポーツ史に輝く快挙を達成した。

帯農 甲子園へ

北大会 39年ぶり2度目

【旭川】第103回全国高校野球選手権（8月9日開幕・甲子園）の代表校を決める北海道大会は6日、旭川スタルヒン球場で決勝を行い、帯農（十勝支部）が帯大谷（同）との同支部対決を19―2の大差で制し、39年ぶり2度目の夏の甲子園出場を決めた。（3面＝ひと2021・佐至千尋の視線、17面＝十勝対決制す）

帯農は三回、渋谷の二塁打などで3点を先取し、5点リードの六回には打者12人の猛攻で8点を挙げ、勝負を決めた。先発左腕大谷は2失点で完投。帯大谷は好機にあと一押しができず、まさ大量失点し、8年ぶりの甲子園出場を逃した。

南北海道大会は26日、札幌円山球場で準決勝が組み合わせ抽選会（佐藤元彦）

39年ぶりの2度目の優勝を決め、内野に集まって喜ぶ帯農の選手たち（高野正史撮影）

②おすすめ動画
田んぼアート
旭川で見ごろ
どうしん電子版

RSウイルスが猛威

乳幼児に重症化リスク

風邪のような症状で、乳幼児がかかると重症化することのあるRSウイルス感染症が今夏、猛威を振るっている。全国約3千の定点医療機関から5～11日の1週間に報告された感染者数は1万5896人で、1機関当たり5人を超えた。現行の手法で統計を取り始めた2018年以降最多だ。

米国やフランスでも感染が急増。新型コロナウイルス対策の徹底によって、昨年のRSウイルス感染者数が減り、十分な免疫を獲得できなかった子どもが増えたのが原因という見方が濃厚だ。

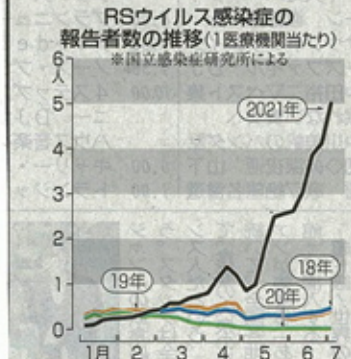
専門家はインフルエンザなど昨年流行しなかった他の感染症についても、反動で今後流行が例年以上に拡大する可能性があると指摘している。

RSウイルスに感染すると、鼻水やせきなどの症状が出た後に回復することが多い。しかし乳幼児は細気管支炎から呼吸困難になって死亡することもあり、注意が必要だ。

しぶきやせきによる飛沫感染や、なめたおもちゃの共有など接触感染で、2歳までにほとんどの子どもが感染。その後も感染を繰り返すことで徐々に免疫がつき、感染しにくくなる。

東北大のチームはこのほど、家庭内感染のほとんどが、最初の家族が感染してから1週間以内に起こり、まだ症状が出ていない段階からうつすケースが約3割に上ったとする研究成果を発表。5歳未満の感染リスクは5歳以上の3・5倍と高いことも突き止めた。

チームの押谷仁・東北大教授（ウイルス学）は「子ども同士の接触が制限されたこともあり、今年の流行につながった」と指摘。重症で入院する乳幼児が増えているとして、家族に風邪症状があればすぐに病院で診断を受け、乳幼児にうつさない対策を取るよう呼び掛けている。



コロナ対策徹底　免疫獲得困難に